



VMware vShield

仮想データセンターやクラウド環境向けの
包括的なセキュリティソリューション

データシート

概要

VMware vShield™ ファミリは、セキュリティの本質、管理性、またはコンプライアンスを犠牲にせずに、クラウド コンピューティングのメリットを活用したい組織を対象としたセキュリティ ソリューションです。これにより、仮想データセンターやクラウド環境に対して包括的な保護を提供します。vShield は、ネットワーク侵入からの保護、ウイルスやマルウェアから端末を保護する際の大幅なパフォーマンス向上、機密データに対する視認性と管理性の向上、および企業全体での IT コンプライアンスへの準拠を促進することで、アプリケーションとデータのセキュリティを強化します。

クラウドにおけるセキュリティの課題

俊敏性を向上させ、コストを削減するため、多くの組織がクラウド コンピューティングを検討しています。しかし、最近のお客様のアンケートでは、クラウド コンピューティングの導入に踏み切れない主な要因に、セキュリティ、管理性、およびコンプライアンスへの懸念を挙げています。そのため組織は、クラウド コンピューティングのメリットを活用できるよう、これらの問題に対処する方法を模索しています。

クラウドのセキュリティに関する懸念事項

- **アプリケーションとデータのセキュリティ:** 現在のクラウド ソリューションでは、アプリケーションの保護やデータの損失および漏えいの防止に必要な高度なツールが企業に提供されない。
- **視認性と管理性:** 現在のクラウド ソリューションでは、ライフ サイクル全体（定義から実装、適用、および監査まで）のセキュリティ ポリシー管理に必要な視認性がセキュリティ管理者に提供されない。
- **コンプライアンス管理:** コンプライアンス管理のためのツール、テクノロジー、およびプロセスは、多くの企業がすでに持っているため、これまでどおりの迅速なコンプライアンスへの準拠が可能なクラウド ソリューションが必要となる。

VMware vShield を使用したクラウドの保護

レガシー アプリケーションを新しいクラウド インフラストラクチャへ移行する場合、仮想化テクノロジーが必要ですが、クラウド環境のセキュリティを実現する場合にも仮想化は不可欠です。仮想化およびクラウド インフラストラクチャのグローバルリーダーとして、VMware® はセキュアで信頼性の高い仮想化ソリューションを 10 年以上にわたって提供してきました。現在、VMware は仮想データセンターとクラウド環境向けの新しいセキュリティ製品、VMware vShield ファミリを提供することで、クラウド コンピューティングのメリットを十分に活用できるよう支援しています。固有のビジネス課題に対処できるクラウド モデルを企業に提供できるのは、VMware ソリューションのみです。これにより、企業は目的に沿った最適なクラウド、「Your Cloud」を安全に実現することが可能になります。

主なメリット

物理的なセキュリティの制限を超える機能

vShield のソリューションは、仮想マシンがホスト間を移動する際に仮想マシンとともに移動する、適応力の高いセキュリティ機能を提供します。これにより、企業は動的なクラウド環境で仮想マシンを安全にサポートできます。この方法により、ユーザー データや機密データの信頼性とネットワークのセグメント化を維持しながら、アプリケーションをクラウド環境内で効率的に実行することが可能になります。

単一のフレームワークによるセキュリティ管理の向上と簡素化

vShield は、単一の包括的なフレームワークを通じて、仮想データセンターとクラウド環境をすべてのレベル（ホスト、ネットワーク、アプリケーション、データ、および端末）で保護します。vShield を使用すると、VMware ベースのクラウドに展開されたすべてのアプリケーションに、適切なセグメント化とトラスト ゾーンが確実に適用されます。また、vShield は、VMware vSphere® プラットフォームの内部監視機能と連携することで、ホストと仮想マシンを保護するための完全な機能を提供します。これらの機能と VMware パートナー各社が提供する信頼性の高いソリューションを併用すると、VMware ベースのクラウドでアプリケーションとデータを強力に保護できるようになります。

複雑性の低減とアンチウイルスによる「頻繁な起動」の排除

vShield は、既存のセキュリティ インフラストラクチャとの統合が可能のため、仮想セキュリティの複雑性を低減し、ソフトウェア エージェント、セキュリティ ポリシー、専用のセキュリティ アプライアンス、およびエアギャップ ソリューションなどの導入を排除します。また、vShield では、個々の仮想マシンにアンチウイルス ソフトウェアをインストールする必要がないため、端末のセキュリティ エージェントに関連した「頻繁な起動」を防止します。

アプリケーションの保護と IT コンプライアンスへの準拠の促進

vShield は、仮想データセンター内のアプリケーションをネットワーク ベースの攻撃から保護します。これにより、企業は、仮想マシン間のネットワーク通信の視認性と管理性を向上できます。ポリシーの適用は、IP アドレスなどの物理構成だけでなく、VMware vCenter™ Server のコンテナや vShield セキュリティ グループなどの論理構成も基準にしているため、迅速に行われます。また、vShield は仮想リソース全体をスキャンして、クレジット カード番号などの機密データを確認します。ポリシー違反はレポートされるため、IT 部門は世界各地の規制に対するコンプライアンス状態を迅速に評価できます。

既存のセキュリティ ソリューションの活用

vShield は、REST (Representational State Transfer) API を通じて、既存のエンタープライズ IT セキュリティ ソリューションとともにシームレスに動作するよう設計されています。REST API は、vShield 機能をサードパーティ製セキュリティ ソリューションによって利用できるようにカスタマイズするものです。また、vShield に含まれる端末セキュリティ API により、既存のアンチウイルスおよびアンチマルウェア ソリューションとの連携が可能になります。さらに、vShield にはさまざまなセキュリティ ソリューションへのインターフェイスがあり、セキュリティ情報およびイベントの管理、データ漏えいからの保護、変更管理と構成管理、監査などの機能を使用できます。

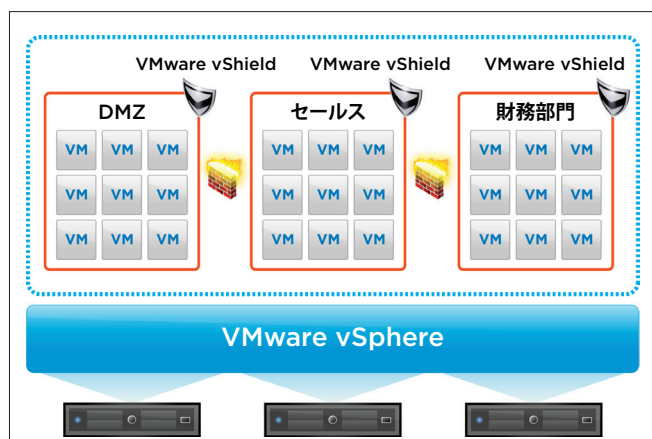
VMware vShield の使用

ビジネス クリティカルなアプリケーションの保護

vShield ソリューションを使用すると、お客様は、同じ仮想データセンター内の信頼性レベルの異なるアプリケーションを容易にサポートできるようになります (例: 本番環境と開発環境、財務部門と営業部門、機密のアプリケーションとそれ以外のアプリケーションなど)。vShield のハイパーバイザー レベルのファイアウォールでは、適切なセグメンテーションとトラスト ゾーンがすべてのアプリケーションに確実に適用されます。

仮想デスクトップ環境の保護

vShield は VMware View™ と連携して、仮想端末および仮想アプリケーションをウイルスやマルウェアから効率的に保護します。これは、アンチウイルスとアンチマルウェア機能の負荷を個々の仮想マシンから 1 台のセキュアな仮想アプライアンスにオフロードして、ホストとホスト上のすべての仮想マシンを保護する方法により実現します。この方法でセキュリティ管理が効率化され、アンチウイルスによる「頻繁な起動」、パフォーマンスのボトルネック、およびボットネット攻撃からの保護が提供されます。



VMware vShield を使用すると、企業はビジネス ベースのセキュリティ グループを作成して、重要なアプリケーションをネットワーク ベースの脅威から保護することができます。

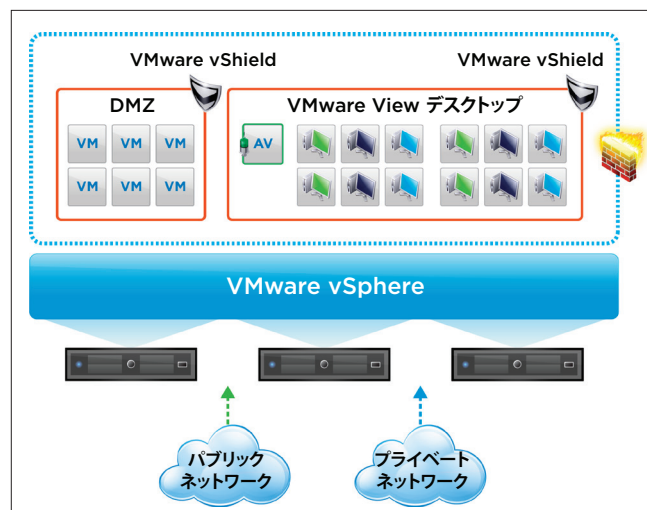
また vShield では、ネットワークの完全な分離や、ファイアウォール、仮想プライベート ネットワーク (VPN)、および DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) などの一連のネットワーク ゲートウェイ サービスを使用して、仮想デスクトップインフラストラクチャの周囲に論理的なセキュリティ境界を設置することもできます。

Sensitive Data Discovery による コンプライアンス違反のリスクの低減

企業は、vShield App with Data Security を使用することで、構造化されていないファイル内の機密データを正確に検出およびレポートできます。国および業界固有の規制に関する 80 を超える事前定義済みのテンプレートを使用して、流出の危険にさらされている機密データを迅速に特定およびレポートします。また、データ検出機能の負荷を仮想アプライアンスに移動することで、パフォーマンスが向上します。

マルチテナント環境の保護

vShield ソリューションを使用すると、企業およびクラウド サービスプロバイダは、マルチテナント IT 環境を容易にサポートできます。また、仮想データセンターのネットワークを完全に分離する論理的なセキュリティ ゾーンを設置することで、ネットワーク リソースが安全に共有されます。さらに、vShield は、ネットワーク ゲートウェイを経由するトラフィックと VPN サービスを詳細に管理および監視して、仮想データセンター間の情報の機密性と整合性を維持します。



vShield は、VMware のパートナーが提供するセキュリティ仮想アプライアンスを使用して、仮想環境のアンチウイルスおよびアンチマルウェア セキュリティを最適化します。

vShield ソリューション

vShield Edge

vShield Edge は、仮想データセンターのセキュリティ境界を保護するネットワーク ゲートウェイ ソリューションです。これは、組織が異なる部門間を完全にセグメント化するための DHCP、ネットワーク アドレス変換 (NAT)、ファイアウォール、ロード バランシング、サイト間の VPN 接続、ポート グループの分離、およびその他の機能を使用する仮想データセンターが対象となります。

vShield App および vShield App with Data Security

vShield App は、仮想データセンター内のアプリケーションをネットワーク ベースの脅威から保護します。これにより、組織はビジネス関連のポリシーを作成および管理し、動的なクラウド環境に適用することが可能になります。また、仮想マシン間のネットワーク通信を詳細に確認し、セキュリティ グループを使用してポリシーをきめ細かく適用できます。vShield App with Data Security ではこれに加え、仮想マシン コンテナ内のファイルに含まれる、クレジットカード番号などの暗号化されていない機密データも検出できます。管理者は、データセンター、クラスタ、またはリソース プールに機密データがないかをスキャンすることで、規制に対するコンプライアンスを確保できます。また、管理者は、REST API を使用して、ウイルスに感染したファイルを隔離することも可能です。

vShield Endpoint

vShield Endpoint では、仮想マシンのセキュリティが強化されると同時に、端末保護のパフォーマンスが格段に向上します。また、VMware のパートナーが提供するセキュアな専用の仮想アプライアンスに、アンチウイルスおよびアンチマルウェアのエージェント処理を委譲します。このソリューションは既存の投資を活用できるよう設計されており、物理環境の保護に使用しているものと同じ管理インターフェイスを使用して、仮想環境用のアンチウイルスおよびアンチマルウェアのポリシーを管理できます。

vShield Bundle

vShield Bundle には、次の vShield 製品ファミリが含まれます：vShield Edge、vShield App with Data Security、vShield Endpoint

vShield Manager

vShield Manager は、すべての vShield 製品と、サードパーティ製のセキュリティ サービスの管理、展開、レポート作成、ログ作成、および統合を中央から制御できます。vCenter Server と vShield Manager を併用することで、仮想化のセキュリティ管理の統合フレームワークの一部として、ルールベースのアクセスコントロールと業務の分離が可能になります。vShield Manager は各 vShield 製品に含まれています。

vShield Zones

vShield Zones は vSphere に含まれており、仮想データセンター内で、ネットワーク ベースの脅威からの基本的な保護を提供します。これは、基本となるトラフィック情報 (転送元 / 転送先の IP アドレスやポートなど) を使用して、アプリケーションのファイアウォール保護や、管理者が定義する「ゾーン」ベースのポリシー管理を行うことで可能となります。vShield Zones は vSphere の組み込み機能として提供されます。

サポート対象の製品リリース

vSphere、ESX、および VMware View 環境でサポートされる製品リリースの詳細については、www.vmware.com/jp/products を参照してください。

購入方法

vShield Edge、vShield App、vShield App with Data Security、vShield Endpoint は、単体製品として購入できます。また、vShield Bundle は、これらの製品をまとめた単一のバンドルとしてご購入いただけます。

サポートとサービス

VMware は、vShield のすべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) を提供しています。サポートは、Basic Support (ベーシック サポート) と Production Support (プロダクション サポート) のいずれかを選択していただけます。vShield Endpoint とともに動作する、サードパーティ製のアンチウイルスソリューションおよびアンチマルウェア ソリューションのサポートは、そのソリューションのプロバイダから提供されます。

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products

仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vShield のドキュメントを参照してください。

